

## 2025 年度事業報告

### I. 事業関連事項

2025 年度は定款第 3 条の目的を達成するため、2025 年度事業計画書と収支予算書に基づき、一般助成、海外学会参加旅費援助および出版助成を実施しました。国内フェローシップの申請はありませんでした。

2025 年度に実施した事業の具体的内容は以下のとおりです。

なお、当財団の実施する助成事業の概要・応募方法はインターネットを通して当財団の以下のホームページにて、一般に広く周知・募集を行っております。

<https://www.amsf.or.jp/josei.html>

#### 1. 一般助成

2025 年度は、インターネットを通して公募を行った結果、以下の 3 件の団体より一般助成の申請がありました。

2025 年度第 1 回常務理事会にて審議を行った結果、いずれの団体の申請内容もアメリカ研究を行う不特定多数の研究者等に寄与する団体・組織による事業への助成であると判断され、また、年度予算の範囲内であることから、以下の合計 2,380,000 円の一般助成を決定・実施しました。

#### 2025年度アメリカ研究一般助成申請案件

	申請団体	申請内容	申請額
1	アメリカ学会	1.年報『アメリカ研究』刊行 40万円 2.英文ジャーナルThe Japanese Journal of American Studies刊行 60万円	1,000,000円
2	東京大学大学院 総合文化研究科附属 グローバル地域研究機構 アメリカ太平洋地域研究センター	1. アメリカ研究関係洋雑誌購入経費 45万円 2. 研究電子データベース購入経費 7万円 3. 資料整理・保存経費 15万円 4. 「アメリカ研究オーラル・ヒストリー」編集経費 10万円 5. Globalizing American Studies 関連セミナー他開催準備経費 50万円	1,270,000円
3	中・四国アメリカ学会	1.若尾祐司氏(名古屋大学名誉教授)をシンポジウム「原爆投下80周年を迎えて」に招聘するための経費(交通費、宿泊費) 5万円 2.川口悠子氏(法政大学理工学部)を上記のシンポジウムに招聘するための経費(交通費、宿泊費) 6万円	110,000円

<合計>

2,380,000円

それぞれの団体からは助成に対する事業の実施結果につき、その内容及び経費の報告書を受領し、実施内容につき当初の申請内容のとおり実施されていることの確認を行っております。

また、毎年2月に発行しております、アメリカ研究振興会「会報」に、助成を行った団体・組織から、当財団からの一般助成と事業につき寄稿をいただき、掲載をしております。なお、「会報」は、当財団ホームページにも掲載をしております。[https://www.amsf.or.jp/pdf/2026\\_kaiho.pdf](https://www.amsf.or.jp/pdf/2026_kaiho.pdf)

## 2. 海外学会参加旅費援助

2025年度は、以下の2件の海外学会参加旅費援助事業に対する申請があり、2024年度第5回常務理事会及び2025年度第3回常務理事会にて審議を行い、いずれも助成対象に該当する申請として助成することとし、それぞれ200,000円、合計400,000円の海外学会参加旅費援助を実施しました。

いずれの申請案件についても、申請者から海外学会の参加後に、参加学会での発表内容、経費につき報告書の提出を受領し、申請内容に符合した学会への参加であったことを確認しています。

	申請者	参加会議	内容	助成額
1	鈴木 葉菜 筑波大学 大学院生	2025 ARHE/ARS/AAPG Annual Conference ルイジアナ州 ニューオリンズ 2025年6月25日～29日	Bringing Recovery High School to Light: Showcasing U.S. Practice to Inspire Japanese Implementation	200,000円
2	臺丸谷 美幸 水産大学校 水産流通経営学科 准教授	The 2025 Annual Meetig of the Oral History Association ジョージア州 アトランタ 2025年10月15日～18日	戦争記憶の構築 -第二次世界大戦から朝鮮戦争 における日系アメリカ人退役軍 人たちの記憶実践	200,000円

## 3. アメリカ研究図書出版助成

2025年度は、インターネットを通して公募を行った結果、11件の図書出版助成の申請が出版社よりありました。2025年度第3回常務理事会で審議の結果、11件いずれも「アメリカ研究」に関する図書として判断されました。その上で助成の対象とするかにつき検討を行った結果、3件の申請については、既に単著があるなど実績がある著者であり、限られた予算の中で当事業の主旨にある比較的若い研究者を優先対象とすることから、今回の助成対象から外すことを決定しました。残りの申請図書8件のそれぞれにつき、外部の専門家2名及び担当の常務理事の合計3名の査読者を決定し、延べ24名の査読者

による査読を行い、11月1日に査読者及び常務理事会メンバーによる出版助成図書審査会を開催し、公正な審議を経て、以下の5図書、合計4,120,000円の出版助成を決定しました。

	著者	著書タイトル	出版社	助成額
1	磯山 麻衣(34歳) 近畿大学国際学部 特任講師	『武器としての高等教育 - 冷戦期米国アジア財団の対日広報外交』	京都大学学術 出版会	970,000円
2	奥田 俊介(35歳) 名古屋外国語大学 講師	『「教育」をめぐる冷戦： ケネディ・ジョンソン政権の対東アフリカ 教育援助・交流活動を例に』	勁草書房	900,000円
3	菅澤 紀生 (52歳) すがさわ法律事務所 弁護士	『アメリカ・オレゴン州土地利用法を参考とした持続可能な 土地利用法制の検討 - 公的ニューサンスを鍵として-』	日本評論社	750,000円
4	江原 裕美(71歳) 帝京大学 名誉教授	『開発と教育の地政学 - 米国の対ラテンアメリカ教育援助の歴史的系譜』	東京大学 出版会	750,000円
5	石本 凌也(29歳) 北海道教育大学教育学部 函館校 講師	『核兵器をめぐる相克 - 米ソ戦略兵器制限交渉と日米 -』	吉田書店	750,000円

<合計> 4,120,000円

2025年度の図書出版助成に対する当初予算は3,000,000円でしたが、申請件数が多数となり、申請図書の内容も優れたものが多かったことを勘案し、予算を超える金額の助成を行うこととしました。

助成決定を行った図書については、原則翌年5月末までに著作が出版され、刊行された著作が当財団に提出されたことをもって、助成金を支払うものとしています。

また、出版助成を行い刊行された図書については、2月に発行する「会報」に、「出版助成図書 自著紹介」として著者による著書の紹介文を掲載しております。

当年度出版助成を決定した図書及びその助成金額は、「会報」に掲載するとともに、出版助成決定の過程について記載をしています。

また、助成した図書がどのような社会的評価を受けているかを検証するため、過去に助成した図書について受賞や書評があった場合には、著者からの「社会的反響」として寄稿をいただき、「会報」に掲載して確認を行っております。

#### 4. その他

2026年2月20日に会報第86号を発行しました。

([https://www.amsf.or.jp/pdf/2026\\_kaiho.pdf](https://www.amsf.or.jp/pdf/2026_kaiho.pdf))

## II. 業務関連事項

### 1. 諸会議の開催

理事会、評議員会及び常務理事会を以下のとおり開催し、それぞれの議案について決議・報告をしました。

#### (1) 理事会

##### ① 第45回理事会 2025年4月16日開催

###### I. 決議事項

- 第1号議案 2024年度事業報告及び財務諸表承認の件
- 第2号議案 第25回評議員会（定時）開催の件
- 第3号議案 業務執行理事（常務理事）選定の件
- 第4号議案 資金運用規定改定の件
- 第5号議案 経理規定改定の件

###### II. 報告事項

- 報告事項1 理事長及び常務理事の職務執行報告の件

##### ② 第46回理事会 2026年2月24日開催

###### I. 決議事項

- 第1号議案 2026年度事業計画承認の件
- 第2号議案 2026年度予算承認の件
- 第3号議案 第26回評議員会（同意書による決議）開催の件
- 第4号議案 2026年度の役員賠償責任保険の契約締結（継続）の件

###### II. 報告事項

- 報告事項1 寄附金の受領について
- 報告事項2 理事長及び常務理事の職務執行報告の件
- 報告事項3 第47回理事会開催について
- 報告事項4 2026年1月末現在運用資産の状況について

#### (2) 評議員会

##### ① 第25回評議員会（定時） 2025年5月13日開催

###### I. 決議事項

- 第1号議案 2024年度事業報告及び決算に関する財務諸表承認の件
- 第2号議案 任期満了に伴う評議員選任の件

② 第26回評議員会（決議の省略） 2026年3月9日決議

I. 決議事項

第1号議案 2026年度事業計画承認の件

第2号議案 2026年度予算承認の件

II. 報告事項

報告事項1 寄附金の申込について

(3) 常務理事会

① 2025年度第1回常務理事会 2025年4月7日開催

I. 決議事項

第1号議案 2024年度事業報告及び財務諸表承認の件

第2号議案 2025年度アメリカ研究一般助成に関する選考・決定の件

第3号議案 任期満了に伴う評議員候補者の件

第4号議案 保有債券の償還に伴う新規債券投資に関する件

第5号議案 資金運用規定改定の件

第6号議案 経理規定改定の件

第7号議案 業務執行理事（常務理事）選定の件

第8号議案 第45回理事会開催の件

② 2025年度第2回常務理事会 2025年7月3日（書面による決議）

I. 決議事項

第1号議案 保有債券の償還に伴う新規債券投資に関する件

③ 2025年度第3回常務理事会 2025年9月10日開催

I. 決議事項

第1号議案 2025年度出版助成申請案件審査の件

第2号議案 海外学会参加旅費援助申請案件審査の件

II. 報告事項

報告事項1 2025年度中間（8月末まで）事業報告の件

報告事項2 2025年度中間（8月末まで）収支報告の件

報告事項3 2025年度中間（8月末まで）資産運用報告の件

④ 2025年度第4回常務理事会 2025年11月1日開催

I. 決議事項

第1号議案 2025年度出版助成対象図書及び助成額審議の件

II. 報告事項

報告事項1 2025年度会報発行について

⑤ 2025年度第5回常務理事会 2026年1月28日開催

I. 決議事項

第1号議案 2026年度事業計画審議の件

第2号議案 2026年度予算審議の件

第3号議案 任期満了に伴う次期理事および監事候補者の件

第4号議案 第46回および第47回理事会開催の件

第5号議案 寄附金申込の件

II. 報告事項

報告事項1 2026年度出版助成図書審査委員会の日程について

報告事項2 会報第86号の状況について

報告事項3 2025年12月末現在運用資産の状況について

2. 監事監査の実施

2025年4月4日に菅野監事、深谷監事により、2024年4月1日～2025年3月31日までの第12期事業年度における会計及び業務の監査が実施され、第45回理事会および第25回評議員会にて監査報告が行われました。

3. 届出・報告等

(1) 内閣府公益認定等委員会に対する届出等

① 2024年度事業報告等に係る提出書の届出 2025年5月22日

② 評議員の変更の届出 2025年6月2日

(2) 東京法務局に対する届出等

① 評議員の変更登記 2025年5月28日

### III. 2025 年度末（2026 年 3 月 31 日現在）の役員等

#### <理事>（14名）

理事長

渡邊 光一郎

常務理事

油井 大三郎 久保 文明 高橋 裕子 宇沢 美子

理事

会田 弘継 生井 英考 佐藤 康博 庄司 哲也 杉浦 康之

巽 孝之 中林 美恵子 藤崎 一郎 古矢 旬

#### <監事>（2名）

菅野 豊 深谷 竜司

#### <評議員>（13名）

大海渡 憲夫 大津留（北川）智恵子 貴堂 嘉之 佐々木 卓也

竹沢 泰子 中野 耕太郎 中野 博文 西澤 敬二

新田 啓子 村田 勝幸 村田 晃嗣 山岸 敬和

チャールズ D. レイク II

※当財団の理事は基本的に外部理事で構成されており、理事間の互選により、理事長（代表理事）、常務理事（業務執行理事）が選出されます。監事のうち1名は公認会計士を選任しております。

役員の内職等については、当財団ホームページに掲載しております。

<https://www.amsf.or.jp/yakuin.html>

※当財団では理事長及び常務理事で構成される常務理事会において、事業及び法人の運営を行います。理事長及び常務理事の職務執行内容については、理事会及び評議員会にて報告・確認を行っています。

# 正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,448,250	1,500,000	△ 51,750
基本財産有価証券利息	1,448,250	1,500,000	△ 51,750
特定資産運用益	14,827,152	15,213,164	△ 386,012
特定資産有価証券利息	8,076,288	8,291,600	△ 215,312
投資信託分配金	6,750,864	6,921,564	△ 170,700
雑収益	45,880	13,790	32,090
受取利息	45,880	13,790	32,090
寄附金	10,000,000	0	10,000,000
受取寄付金	10,000,000	0	10,000,000
経常収益計	26,321,282	16,726,954	9,594,328
(2) 経常費用			
事業費	12,969,087	12,122,885	846,202
アメリカ研究助成費	6,900,000	5,944,000	956,000
出版助成審査費	1,121,489	864,930	256,559
会報発行費	264,336	307,779	△ 43,443
役員報酬	596,669	575,008	21,661
給与手当	1,799,715	1,819,404	△ 19,689
会議費	69,406	129,822	△ 60,416
賃借料	1,703,880	1,703,880	0
消耗品費	12,389	54,510	△ 42,121
旅費交通費	2,294	633	1,661
通信運搬費	188,417	177,829	10,588
雑 費	310,492	545,090	△ 234,598
管理費	3,971,629	4,423,613	△ 451,984
役員報酬	505,904	466,310	39,594
給与手当	2,155,421	2,163,858	△ 8,437
会議費	261,087	488,376	△ 227,289
賃借料	587,640	587,640	0
消耗品費	8,333	36,339	△ 28,006
旅費交通費	2,292	632	1,660
通信運搬費	101,891	96,552	5,339
雑 費	349,061	583,906	△ 234,845
経常費用計	16,940,716	16,546,498	394,218
評価損益等調整前当期経常増減額	9,380,566	180,456	9,200,110
特定資産評価損益等	△ 1,095,559	△ 2,855,074	1,759,515
当期経常増減額	8,285,007	△ 2,674,618	10,959,625
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期損益修正益	0	11,108,479	△ 11,108,479
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	10,505,261	0	10,505,261
当期経常外増減額	△ 10,505,261	11,108,479	△ 21,613,740
当期一般正味財産増減額	△ 2,220,254	8,433,861	△ 10,654,115
一般正味財産期首残高	519,685,101	511,251,240	8,433,861
一般正味財産期末残高	517,464,847	519,685,101	△ 2,220,254
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	517,464,847	519,685,101	△ 2,220,254

# 正味財産増減計算書内訳表

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	724,125	724,125	1,448,250
基本財産有価証券利息	724,125	724,125	1,448,250
特定資産運用益	8,896,291	5,930,861	14,827,152
特定資産有価証券利息	4,845,773	3,230,515	8,076,288
投資信託分配金	4,050,518	2,700,346	6,750,864
雑収益	27,528	18,352	45,880
受取利息	27,528	18,352	45,880
寄附金	6,000,000	4,000,000	10,000,000
受取寄付金	6,000,000	4,000,000	10,000,000
経常収益計	15,647,944	10,673,338	26,321,282
(2) 経常費用			
事業費	12,969,087	0	12,969,087
アメリカ研究助成費	6,900,000	0	6,900,000
出版助成審査費	1,121,489	0	1,121,489
会報発行費	264,336	0	264,336
役員報酬	596,669	0	596,669
給与手当	1,799,715	0	1,799,715
会議費	69,406	0	69,406
賃借料	1,703,880	0	1,703,880
消耗品費	12,389	0	12,389
旅費交通費	2,294	0	2,294
通信運搬費	188,417	0	188,417
雑 費	310,492	0	310,492
管理費	0	3,971,629	3,971,629
役員報酬	0	505,904	505,904
給与手当	0	2,155,421	2,155,421
会議費	0	261,087	261,087
賃貸料	0	587,640	587,640
消耗品費	0	8,333	8,333
旅費交通費	0	2,292	2,292
通信運搬費	0	101,891	101,891
雑 費	0	349,061	349,061
経常費用計	12,969,087	3,971,629	16,940,716
評価損益等調整前当期経常増減額	2,678,857	6,701,709	9,380,566
特定資産評価損益等	△ 657,335	△ 438,224	△ 1,095,559
当期経常増減額	2,021,522	6,263,485	8,285,007
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期損益修正益	0	0	0
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	6,303,157	4,202,104	10,505,261
当期経常外増減額	△ 6,303,157	△ 4,202,104	△ 10,505,261
当期一般正味財産増減額	△ 4,281,635	2,061,381	△ 2,220,254
一般正味財産期首残高	266,613,342	253,071,759	519,685,101
一般正味財産期末残高	262,331,707	255,133,140	517,464,847
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	262,331,707	255,133,140	517,464,847

## 貸借対照表

2026年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	10,304,360	9,039,700	1,264,660
未収金	5,118	0	5,118
流動資産合計	10,309,478	9,039,700	1,269,778
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2)特定資産			
投資有価証券	438,342,706	444,804,945	△ 6,462,239
現金預金	22,948,563	19,052,956	3,895,607
特定資産合計	461,291,269	463,857,901	△ 2,566,632
固定資産合計	511,291,269	513,857,901	△ 2,566,632
資 産 合 計	521,600,747	522,897,601	△ 1,296,854
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未 払 金	4,120,000	3,184,000	936,000
預 り 金	15,900	28,500	△ 12,600
流動負債合計	4,135,900	3,212,500	923,400
2. 固定負債	0	0	0
負 債 合 計	4,135,900	3,212,500	923,400
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	517,464,847	519,685,101	△ 2,220,254
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(461,291,269)	(463,857,901)	2,566,632
正味財産合計	517,464,847	519,685,101	△ 2,220,254
負債及び正味財産合計	521,600,747	522,897,601	△ 1,296,854

## <財務諸表に対する注記>

「公益法人会計基準（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）」を採用している。

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券は償却原価法、その他の有価証券は時価法による。

#### (2) 消費税等の会計処理

税込方式による。

### 2. 会計方針の変更

有価証券の評価基準及び評価方法は、従来、満期保有目的債券については原価法及びその他の有価証券については時価法によっていたが、当事業年度より満期保有目的債券については償却原価法に変更している。

この変更は、より適正な期間配分を行うために行ったものである。

この結果、前事業年度と同一の基準を採用した場合と比較して、満期保有目的債券の期末評価額は2,383,987円減少し、経常増減及び当期一般正味財産増減額は同額減少している。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額およびその残高

基本財産及び特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	50,000,000	0	0	50,000,000
基本財産小計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
投資有価証券	444,804,945	226,258,515	232,720,754	438,342,706
現金預金	19,052,956	10,000,000	6,104,393	22,948,563
特定資産小計	463,857,901	236,258,515	238,825,147	461,291,269
合 計	513,857,901	236,258,515	238,825,147	511,291,269

#### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)
基本財産	50,000,000	(0)	(50,000,000)
特定資産	461,291,269	(0)	(461,291,269)
合 計	511,291,269	(0)	(511,291,269)

#### 5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

保有する債券はすべて満期保有目的であり、その内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

銘 柄	帳簿価額	時価	評価損益
第23回 三井住友FG劣後債	104,673,570	94,598,100	△ 10,075,470
第6回 楽天(株)劣後債	100,464,005	93,545,800	△ 6,918,205
第63回 ソフトバンクグループ債	70,490,396	67,193,000	△ 3,297,396
第一生命劣後債①	27,931,871	39,842,096	11,910,225
第一生命劣後債②	27,914,362	39,890,060	11,975,698
三井住友FG劣後債	70,085,095	69,741,000	△ 344,095
合 計	401,559,299	404,810,056	3,250,757

#### 6. 重要な後発事象

該当事項なし

## 財 産 目 録

2026年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	普通預金 みずほ銀行 ゆうちょ銀行	運転資金として使用している。	10,177,862
				126,498
	未収金			5,118
流動資産合計				10,309,478
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第23回 三井住友FG劣後債	法人の事業を行うために不可欠な財産として保有している。	50,000,000
特定資産	投資有価証券	第23回 三井住友FG劣後債	公益目的事業および法人会計に充てる資産であり、運用益をそれぞれの財源として使用している。	54,673,570
		第6回 楽天(株)劣後債		100,464,005
		第63回 ソフトバンクグループ債		70,490,396
		第一生命劣後債①		27,931,871
		第一生命劣後債②		27,914,362
		第13回 三井住友FG劣後債		70,085,095
	ダイワ・スイス高配当株ツインα グローバル・インフラ債券ファンド	60,074,853		
	26,708,554			
	現金預金	普通預金 みずほ銀行		22,948,563
固定資産合計				511,291,269
資産合計				521,600,747
(流動負債)				
	未払金		2025年度に決定した出版助成の支払いに充てる金額	4,120,000
	預り金		源泉所得税の支払いに充てる金額	15,900
流動負債合計				4,135,900
負債合計				4,135,900
正味財産				517,464,847